

みんなが知りたい 空港の疑問50

秋元俊二

2学期が始まりました。みなさん、夏休みは楽しく過ごせましたか？部活や塾に行ったり、友だちと遊んだり、どこか旅行にいった人もいるかもしれませんね。少し遠いところへ旅行に行くときは車や船、新幹線、飛行機などで移動します。そのなかでも今回は飛行機と空港に注目してみたいと思います。

関西には大きな空港が3つあります。1つめは大阪にある関西国際空港（KIX）。2つめは伊丹にある大阪国際空港（ITAMI）。3つめは1番新しい神戸空港（KOBE）。

関空は今年の9月4日で25周年を迎えるアニバーサリーイヤーなのです。

伊丹空港はなんと80周年！神戸空港は13周年。それぞれカラーの異なる空港がそろっています。私がよく利用しているのは神戸空港。東京に行くときなど、新幹線より早く安く着くこともあり便利です。規模が小さめの空港なので、あまり迷うことなくスムーズに利用できます。でも関空や伊丹空港は広いので、搭乗手続きも大変、搭乗ゲートまでの長い道のりを定刻までに迷わず移動するのも大変！そのぶん、免税店や専門店、レストランがたくさんあり、待ち時間も飽きることなく楽しく過ごせます。

海外に行くときに食べられる機内食。あれはどこで作っているのでしょうか？日本でも海外でも「ケータリング会社」とよばれる機内食を作る専門の会社の工場で作られています。機内食は調理がすんでからすぐに乗客に提供されるわけではありません。旅客機に積み込まれるのは出発の直前で、その間に鮮度が落ちないように、調理方法や温度管理などに一般のレストランで出される料理にはない厳しさが求められます。ケータリング会社で調理された食事は、台車付きカートに乗客の人数分のトレーがセットされた状態で、専用トラックに積まれて工場を出発。空港で機内のギャレー（厨房）に搭載されます。離陸後、食事の時間になると、客室乗務員はカートのスイッチをオン！するとトレーの下の加熱板に電気が通じ、メインディッシュだけが温められます。そして温めが終了すると、乗務員はそのカートを押し、乗客のもとに飲み物などいっしょに運び、私たちのもとへ届けられるのです。ほかにも私たちの目に見えていないところで、たくさんの方々が旅を支えてくれていることがよくわかる1冊になっています。

私の神戸空港のおすすめスポットは展望デッキ。神戸空港は海の上にあるので、四方を海に囲まれています。南側で出発前や到着後の飛行機を見るのも楽しいし、北側で神戸の街並みをぼんやりと見ているのも楽しいですよ。いつもよりも広い視野で神戸の街を一望することができます。

もうひとつ、関西3空港の公式キャラクターとして活動している「そらやん」もおすすめ。飛行機をモチーフにした丸い体と、愛くるしいほのぼのとした表情がとてかわいいです。口癖は「～やん」という関西感もたまりません。空港に行った際にはぜひ見てみてくださいね。